

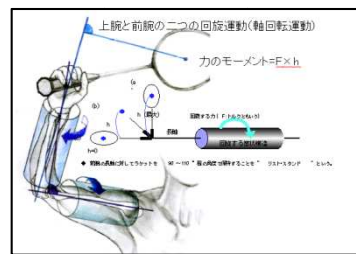
令和4年度 日本スポーツ協会公認バドミントン コーチ1・コーチ2養成講習会について

今年度のコーチ1養成講習会は、7月16日から8月7日の5日間、・静岡市東部・南部体育館・御前崎市新野地区センター・牧之原市BG海洋センターで行われました。コーチ2養成講習会は、9月4日から25日の6日間で、静岡市東部体育館・御前崎市新野地区センターで、行われました。コロナ感染症対策のもと万全を尽くし行われました。共に講師は、静岡県バドミントン協会理事長の杉山敏充先生で、受講生はコーチ1が20名・コーチ2が13名で、20代から60代まで幅広い年代層の方が受講されました。本年度は、有資格の自己研鑽参加を、対策を万全に行いご協力をお願いしました。内容は、多岐にわたりますので抜粋し掲載いたします。

コーチ1は、「バドミントンの指導理論・トレーニング理論・スポーツ心理学・バドミントンの歴史など」を御教授頂きました。
バドミントンの技術論Iでは、・ラケットの握り方・make face 技術の実践・tumble 実践・spin 技術実践・スライス系ショット・ラギングバック実践・解剖学的機能とキネシオロジーのモデルからバドミントンのストロークを考える。・コンタクト映像（ネットリプライ） ・シャトルの飛行特性検証 ・力のモーメント・慣性力「成長・発達に応じた指導法」「トラベリング能力の測定」様々な知識を講義いただきました。受講生は講義内容を基に、実践指導方法なども、身をもって体感していました。

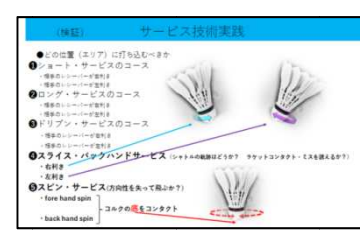


コーチ1 養成講習会
ヒティング理論
・上腕と前腕の二つの回旋
運動（軸回転運動）



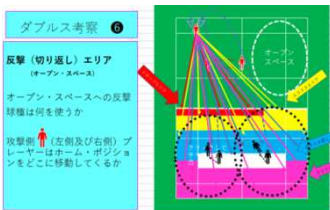
コーチ2は「戦術」戦術を学ぶことにより技術的ディマインドとして数多くのヒティング技術のトレーニング方法や、戦術ディマインドは試合における戦術論を複数の項目に分けて御教授頂きました。さらに、ゲーム分析からそれに基づくトレーニングプログラムの作成など内容が豊富で、受講生の皆様が、必死に自分の物にしようとする姿が見られました。

コーチ2の主な講義項目
《戦術論》 《アジア圏の戦術考察実践》
《世界の戦術考察実践》
『ゲームの分析と指導実践』
ゲーム分析と指導課題の抽出及び課題克服のためのトレーニング・プログラムの作成
バドミントン事業の計画と運営・地域振興について
「バドミントン活動を通じて地域・社会への積極的な貢献活動」
「共生社会の実現に向けて多様性に富んだ環境の整備及び支援活動」



軸足検証 とても重要！！

反撃（切り返し）エリア(オープン・スペース)
オープン・スペースへの反撃



- ・球種は何を使うか？
- ・攻撃側 プレーヤーはホーム
- ・ポジションをどこに移動してくるか？



コーチ2 養成講習会参加者の皆さんと
指導実践の為に選手の皆さん

静岡県バドミントン協会事務局
〒421-0113 静岡市駿河区下川原 6-13-10
鈴木 利幸
TEL 090-3957-0971
E-mail shizuokakenbadkyokai@yahoo.co.jp

静岡県バドミントン協会広報委員会
〒416-0909 静岡県富士市松岡 1515-12
長島 稔
TEL&FAX0545-61-2226
E-mail kouhounagasima@gmail.com

バドミントン しずおか 第66号

発行 令和4年11月15日 発行所 静岡県バドミントン協会 編集者・印刷 広報委員会

全国に先駆け 「中学生連盟」発足！！

公立中学校の運動部活動改革を検討するスポーツ庁は、2025年度末を目標に休日の部活動を地域のスポーツクラブや民間のジムに等に委ねる「地域移行」の実現に踏み切った。

静岡県バドミントン協会は兼ねてから中学生の部活動の在り方について検証し、様々な提言を行い中学校体育連盟との綿密な連携を図るための、協会内組織として中学部を設置しその活動を推進してきたところであります。しかしながら、中学生の各種大会への参加、引率（指導者）、経費等々においては様々な課題が、発生しその解決策はなかなか見出せない状況下にあり結果的に選手、保護者の期待に沿えるような体制とは言い難く抜本的な見直しの必要性がありました。

そのため、本会としては昨年11月より検討委員会を発足し、本年の1月に県中学生連盟発足

「準備委員会」を立ち上げ、令和4年度の発足を目的としておりました。

これは、バドミントン競技団体では全国都道府県協会に先駆ける画期的な取り組みとなる連盟組織の誕生となりその注目度は図り知れないものがある訳であります。

しかし、一方では地域移行に伴う弊害としての指導者の確保は大きな課題となりその解決には至っておりませんが、本県に於いての指導者有資格者数は既に250名を超え各地域及び学校での外部指導者として活躍される指導者も数多く存在することを踏まえれば今後大いに期待の出来るものと確信するものであります。

これにより、本会規約第2条の組織に、新たな「中学生連盟」が加わり、初代会長には本会常任理事の川口明広氏が就任しました。

静岡県バドミントン協会 理事長 杉山敏充

「静岡県中学生バドミントン連盟」 設立について



静岡県中学生バドミントン連盟
会長兼理事長 川口 明広

令和4年7月1日「静岡県中学生バドミントン連盟」（以下 中学生連盟）が発立しました。

設立の経緯、今後の役割について略説いたします。従来、中学生の部活動は、中学校体育連盟（以下 中体連）が行っていました。中体連では中学校総合体育大会（バドミントン競技大会）が事業の主体（主催大会）であり、その他の事業・大会等々は管理管轄外であることから発生する様々な課題に対して事業の管理主体を明確にする必要性がありました。また、昨今の教員働き方改革に伴う部活動の地域移行、中学校体育大会への地域スポーツ団体の参加など、中学生に於ける大会参加規程などの環境が大きく変化中、各競技団体としても体制改革が急務となっていました。

そのようなことから、中学生連盟を立ち上げて、中体連主催事業以外を担務とした活動を行います。今回、多くの方のご理解とご協力で、様々な分野に精通する役員が集まりました。しかしまだ多くの課題があります。また多様性も重視し、女性の比率も上げたいと考えています。そのため今後、連盟事業にご尽力いただける方がおりましたら、是非お声掛け下さい。

さて、中学生連盟の役割です。まずはスポーツとしてのバドミントンを楽しむ普及活動、一方では勝ちに拘る競技スポーツとして強化、育成活動を行います。そのためには静岡県バドミントン協会、各連盟と連携して ALL 静岡で活躍し易い環境を整えると共にバドミントンを通して将来大きく羽ばたく選手及び心身の健全なる発達、礼儀やマナーも身に付け社会に貢献できる人材育成を目指します。これらを全うすべく、皆様のご意見にも真摯に耳を傾け、役員一同努力して参ります。よろしくお申し上げます。

最後になりますが、今まで長きに渡り大変なご苦労の中、中学生の活動にご尽力された中体連関係者の皆様、今回、中学生連盟の立ち上げにご尽力いただいた静岡県バドミントン協会役員の皆様にご協力をお願いして厚く御礼を申し上げます。